

2016年2月10日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

## 笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』

## 第48回 山本 行文 氏

(車いすマラソンの先駆者 パラリンピック 3大会出場、大分国際車いすマラソン 7連覇)

笹川スポーツ財団(所在地:東京都港区赤坂 理事長:小野清子 以下:SSF)は、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々にお話を伺い、スポーツの価値や意義を検証、あるべきスポーツの未来について考えるスペシャルサイト「スポーツ歴史の検証」を連載しております。本年度はパラリンピアンや、ご自身の活動をとおして障害者スポーツをけん引してこられた方にフォーカスを当てています。今回は1984年~1992年のパラリンピック 3大会に出場し、大分国際車いすマラソンで7連覇の偉業を果たされた車いすマラソンの先駆者である 山本 行文さん にご登場いただきます。

山本さんは、陸上自衛隊在籍時に不慮の事故で車いす生活を余儀なくされます。リハビリ中にテレビで観た大分国際車いすマラソン大会でスポーツ熱に火がつき、車いすマラソンへの挑戦が始まりました。その後、数々の優秀な記録を残すとともに、車いすマラソンの練習方法の確立、練習機器の開発、科学的トレーニングの基礎作りなどに携わってこられました。今回も元NHKエグゼクティブアナウンサーの山本浩氏をインタビュアーに、障害者スポーツを取り巻く日本のあるべき姿などについてお話を伺いました。SSFウェブサイトでの公開詳細は以下のとおりです。ぜひともご覧ください。

## 『飽くなき試行錯誤が競技の「礎」となるまで』

## 山本 行文 氏

【公開日時】2016年2月10日(水) 10:00 一斉公開

【URL】<http://www.ssf.or.jp/history/>

笹川スポーツ財団 歴史の検証 で検索ください

【主な内容】事故で下半身不随に、スポーツ熱を呼び戻したものは/自己流のトレーニングで日本一に/パラリンピックで「戦略」の存在を知る/研究、試作、実践で世界を追う日々/普及・強化は地域での選手育成から/2020年に向かうがゆえの課題、2020年を契機に展開できること ほか

## 山本 行文 (やまもと ゆきふみ) 氏

1954年生まれ。熊本県出身。1984年から1992年のパラリンピック 3大会に選手として出場、1996年は日本選手団陸上競技コーチ、2008年大会は日本選手団副団長を務めた。また、1998年の長野大会では開会式の最終聖火ランナーを務めた。

現在は、若手選手のコーチを行うとともに全国各地での講演活動を行っている。

## 山本 浩 (やまもと ひろし) 氏

1953年生まれ。スポーツ評論家。NHK在職中はエグゼクティブアナウンサー、解説委員(スポーツ・体育分野専門)として活動。現在は法政大学スポーツ健康学部教授を務める。

&lt;スポーツ歴史の検証&gt;概要

【企画制作】公益財団法人 笹川スポーツ財団

【後援】文部科学省、東京都、公益財団法人 日本体育協会、公益財団法人 日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先

笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂(ふるさか)

TEL: 03-5545-3301 info@ssf.or.jp